

平成20年度 全国学力・学習状況調査報告

調査の目的

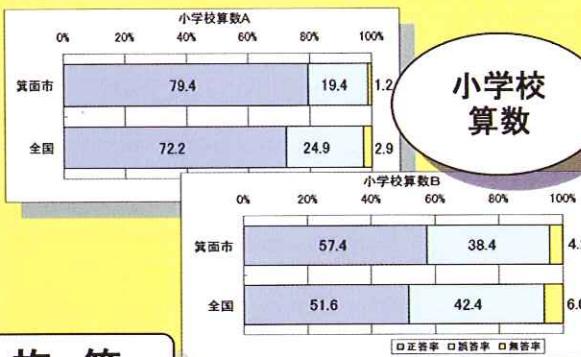
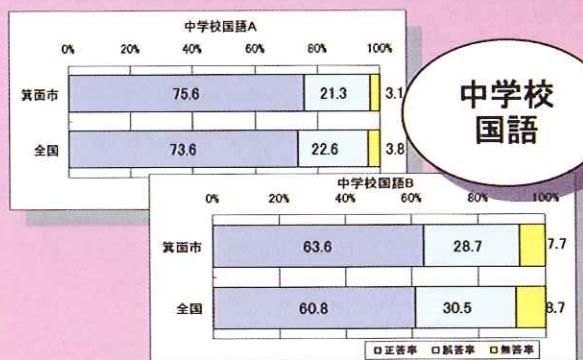
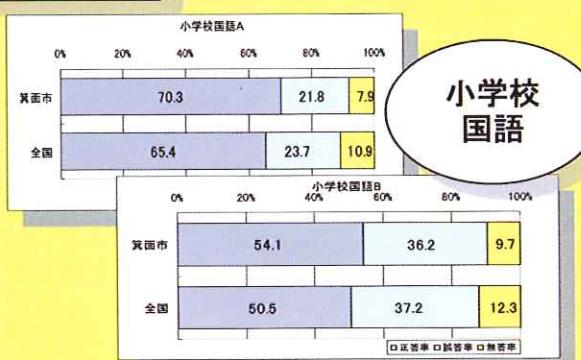
*** 箕面市の分析結果から ***

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童・生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる

調査結果

A問題：主に「知識」に関する問題

B問題：主に「活用」に関する問題



施 策

一人ひとりの子どもたちの
「豊かな育ち」と「確かな学び」をはぐくむために
さまざまな施策・取組を推進・充実します

- ① 個に応じたきめ細かな指導を充実します
- ② 興味・関心を高める授業を実現し、学ぶ意欲を育てます
- ③ 相談体制・支援体制を充実させ、学習環境を整えます
- ④ 「できる喜び、わかる喜び」を実感させる授業を創造し、授業力の向上を図ります
- ⑤ 小中一貫教育において教科、総合的な学習等の取組を進めます
- ⑥ 家庭と連携して、生活習慣・家庭学習習慣の確立を図ります
- ⑦ 多くの地域の方に学校教育への参画・協力をお願いします

※ これまでに公表した分析結果からの抜粋です。

小学校 国語

報告から
(抜粋)

よくできていたところ

- 今回出題された漢字の読み

さらに力をつけることが求められるところ

- 目的や課題、意図に即して、段落の内容をとらえたり資料から分かったことを書いたりすること
- 目的に応じて必要な情報を取り出して、整理したり、条件に即して書き換えたりすること

今後の努力
目標として

- 漢字の持ついろいろな意味を身につけるため、学校でも辞書を使って学習しています。家庭でも、国語辞典や漢字辞典で調べるなど、辞書を引く習慣を身に付けるようにしましょう。

出題問題(例)

あなたの発表

ウ

司会
木村さん

「図書館だより」をもとに、「わたしたち六年生の読書時間を増やすこと」をテーマとして話し合います。「図書館だより」の中のグラフから分かったことと、それをもとに考えて考えたことを発表してください。
家や図書館で一日に一時間以上読書をする六年生は、約十八%もいることが分かりました。わたしは、それほど読書をしていないので、時間を計画的に使って、もっと本を読もうと考えました。

【話し合いの記録の一部】

二 木村さんたち図書委員は、「図書館だより」について話し合いました。次は、そのときの記録の一部です。あなたなら、ここでどのような内容を発表しますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

ウ
のど

梅山市内の小学生のみなさんへ

図書館だより★5・6月号

梅山市立図書館

梅山市立図書館は、みなさんが利用しやすいようにくふうしています。どんどん利用してください。

■図書館が開いている曜日・時間
○火曜日から金曜日
午前9時から午後8時まで
○土曜日・日曜日
午前9時から午後7時まで
お休みは、毎週月曜日

■本の貸し出しについて
○一人5冊までとし、2週間以内に受けへ返してください。

■読書相談日
1・2年生→火曜日
3・4年生→水曜日
5・6年生→金曜日
※図書館員が、決められた曜日の開館時間内に相談にあります。

■本を探すとき
○コンピュータを使うことができます。使い方が分らないときは、係の人に聞いてください。

◆読書情報◆あなたは、どのくらいの時間、本を読んでいますか?
【家や図書館での一日の読書時間】(平成19年4月調査)

(時間)
全くしない
1分～29分
30分～59分
1時間以上

(全国の6年生約110万人を対象にした。土曜日・日曜日を除く。マンガや雑誌は含まれない。)

★5月・6月の図書館行事★

【人形劇】
・「スホーの白い馬」
・5月29日(木)
・15:30～16:00

どなたでも 参加できます

【読み聞かせ】
・「からすのまろ」
・6月15日(日)
・14:30～15:00

3 図書委員の木村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用するようになればいいと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの間に答えましょう。

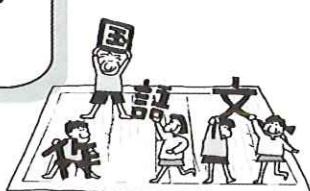
(2) (1)

自然を
保護
する。
全員がすぐに
承知
した。

条件

- ・グラフからわかったこと、それをもとに考えて考えたことを書く
- ・木村さんの発表と同じにならない
- ・80字以上100字以内にまとめて書く

漢字の読みはしっかりできていきました。



<出題のねらい>

資料から必要な情報を取り出して、自分の考えを明確にしながら、読んだり書いたりすることができる力を求められる問題です。条件に即して自分の考えを書くことが必要です。

小学校 算数

報告から
(抜粋)

よくできていたところ

- 整数、小数の四則計算、十進位取り記数法の理解、分数と小数の関係を理解すること

さらに力をつけることが求められるところ

- 面積についての感覚を身に付けること
- 情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述すること
- 他者の考え方方が正しいかどうかについて、割合の考えを用いて判断し、その理由を言葉や式を用いて記述すること

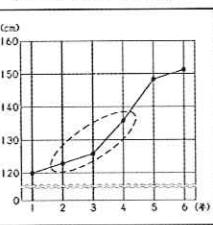
今後の努力
目標として

- 折れ線グラフや棒グラフの数値を読み取るだけでなく、数値から分かったことを発表し合ったり、説明し合ったりする活動をさらに進めます。

出題問題(例)

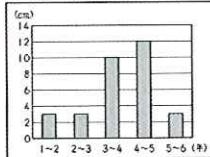
右の折れ線グラフは、洋平さんと同じ学級の京子さん、幸二さん、直美さん、健太さんの4人のうち、ある1人の身長を表しています。

□さんの学年ごとの身長

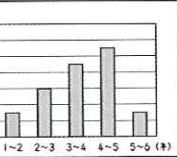


下の棒グラフは、4人の学年ごとの身長の伸びを表しています。

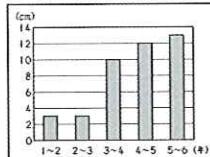
1 京子さんの身長の伸び



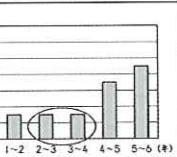
2 幸二さんの身長の伸び



3 直美さんの身長の伸び



4 健太さんの身長の伸び

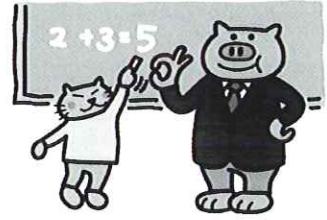


左のページの折れ線グラフが、だれの身長を表したものかを考えます。

- (2) 洋平さんは、折れ線グラフの(○)の部分と、棒グラフ4の(○)の部分を見て、次のように言いました。



折れ線グラフの(○)の部分と、
棒グラフ4の(○)の部分を見ると、
折れ線グラフは、健太さんの身長を
表したものではないことがわかります。



洋平さんが、「健太さんの身長を表したものではない」とわかったのは、
折れ線グラフの(○)の部分の変わり方と、棒グラフ4の(○)の部分の
身長の伸びを比べて、どのようなちがいがあるからですか。それぞれの
グラフを見て、そのちがいを、言葉や数を使って書きましょう。

- (3) 左のページの折れ線グラフは、健太さんの身長を表したものではないことが、(2)でわかりました。

左のページの折れ線グラフは、京子さん、幸二さん、直美さんの3人のうち、
だれの身長を表したものですか。左のページの1から4までのなかから、
あてはまる人の身長の伸びを表している棒グラフを1つ選んで、その番号を
書きましょう。

<出題のねらい>

示された問題について、
その理由や判断の理由を
言葉や式を使って記述し
たり、説明したりする力
が求められる問題です。

- (2) $\frac{7}{10}$ は、次のどれと同じ大きさですか。下の1から4までのなかから
1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 70

2 7

3 0.7

4 0.07

整数、小数の四則計算、分数と小数の関係の理解は、よくできています。

- (1) $132 - 124$ (2) 52×41
(3) $6 + 0.5$ (4) $68.4 \div 36$
(5) $3 + 2 \times 4$ (6) $2 \div 3$ (商を分数で)

中学校 国語

報告から
(抜粋)

よくできていたところ

- 話し合いの方向をとらえて、適切な発言をすること
- 古文の中の文のまとまりをつかみ、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと
- 文脈に即して漢字を正しく読むこと、語句の意味を理解して文脈の中で適切に使うこと

さらに力をつけることが求められるところ

- 資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くこと
- 読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書くこと

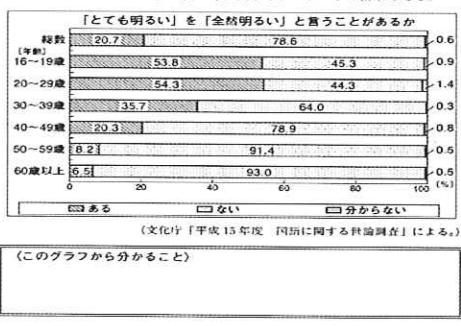
今後の努力目標として

- 国語辞典や漢和辞典を身近に置き、もともとの意味と派生してできた意味の両方に親しむことで、日常使う機会が少ない語彙についてもイメージを膨らませることができます。
- 新聞、随筆、科学読み物などに親しむこと、物事をよく観察して言語で表現する習慣を持つことも大切です。

出題問題
(例)

(2) 国語に関する世論調査

インターネットで検索した結果、文化庁の「平成15年度 国語に関する世論調査」に「全然」の使い方にに関するアンケートの結果である。



（このグラフから分かること）

4まとめ

No. 2

「全然」について

氏名 中西 錠

1 「全然」を取り上げた理由

先日、テレビ番組で若いレポーターが「こちらはまだ全然明るいですよ」と話していた。それを聞いていた私は、「この人の『全然』の使い方は気にならねえ」と言っていた。
研修会では、「全然」は「全然しない」というように方を伴う副詞として、「もししなら」「まるで」「まるでない」といった副詞として、私自身も「全然明るい」という使い方をすることがあるので、この印象を取り上げて、調べてみようと思った。

2 調査方法

①「全然」の意味を、学校図書館にある国語辞典で調べた。
②「全然」の使い方に因縁する俗語を、インターネットや市の図書館の資料で調べた。

3 調査結果と考察

(1) 国語辞典

学校図書館にあった2冊の国語辞典に「全然」をいた。どのように説明されているか整理してみると、次の2種類の使い方に分けていた。

一つめは、打ち消しや否定的な意味の副詞を使いつける方である。「ただけた」「いい方で」、肯定的な意味で強調する使い方である。

二つめは、二重構造をして使われる。「どちらか」「どちらかが」「どちらかがどちらか」「どちらかがどちらかが」「どちらかがどちらかがどちらか」といった複数の意味がある。

先日のテレビの若いレポーターは、二つめの意味の使い方をしていることになる。

3 中学生の中西さんは、「国語の授業で『気になる日本語』をテーマに、身なりの良い中学生間で話し合ったことを書きました。これを読んで、もう少し自分に力をつけてもらいたい」と書いていました。

3 中西さんのレポートを読みながら、中西さんと感想は「『全然』の使い方について次のように話しています。

<出題のねらい>

資料から必要な情報を取り出して整理したり、条件に合わせて自分の考えを書いたりする力が求められる問題です。

漢字を正しく読むこと、語句の意味を理解して適切に使うことはできています。

1 標準記録を突破する。
2 このホールは音響効果が良い。
3 世界の平和を祈る。

中学校 数学

報告から
(抜粋)

よくできていたところ

- 分数の引き算の計算

さらに力をつけることが求められるところ

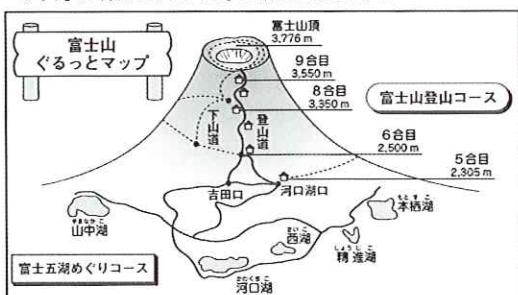
- 与えられた文字式を具体的な事象と関連づけて意味を読み取ること
- 証明の方針に基づいて証明すること
- 事象を理想化・単純化してとらえ、その特徴を数学的に解釈し、一次関数であることを判断したり、その理由や方法を数学的な表現を用いて説明したりすること

今後の努力
目標として

- 問題文や図に書かれていることから学習したことを元に手がかりをみつけ解いていく力をつけていきます。

出題問題
(例)

- 5 里奈さんたちは、下のパンフレットを見ながら、8月に行く「富士五湖めぐり」と「富士山6合目登山」の計画を立てています。



次の(1)から(3)までの各問い合わせに答へなさい。

- (1) 富士五湖めぐりで、5つの湖のうち2つの湖で写真を撮影するとき、2つの湖の選び方は全部で何通りあるかを求めなさい。ただし、湖に行く順番は考えないものとします。

- (2) 里奈さんと憲一さんは、富士山の6合目の気温について話しています。

里奈さん「6合目の気温を調べようとしたけれど、6合目には観測所がないから、気温が分からないよ。」
憲一さん「気温は、地上から1万mぐらいまでは、高さが高くなるのにともなって、ほぼ一定の割合で下がる」と考へると、高さx mの気温をy°Cとすると、xとyの間に、いつでもいえる関係があります。次ページのアからOの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア y は x に比例している。

イ y は x に反比例している。

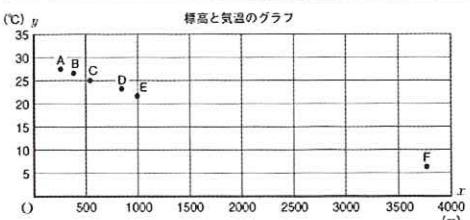
ウ y は x の一次関数である。

エ x と y の和は一定である。

オ x と y の差は一定である。

(3) 里奈さんは、富士山周辺と山頂の8月の平均気温を調べました。そして、下の表のようにまとめ、高さ(標高) x mのときの気温を y °Cとして、グラフに表しました。

観測所の標高と2007年8月の平均気温 (気象庁調べ)					
観測所	標高(m)	平均気温(°C)	観測所	標高(m)	平均気温(°C)
A(甲府)	273	27.7	D(河口湖)	860	23.3
B(舞沼)	394	26.7	E(山中)	932	21.7
C(古賀)	552	24.9	F(富士山)	3775	6.4



里奈さんは、「高さが高くなるのにともなって、気温が一定の割合で下がる」ことをもとに、表やグラフのDとFのデータを用いて、6合目のおよその気温を求めることにしました。

このとき、6合目(2500m)のおよその気温を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に気温を求める必要はありません。

<出題のねらい>

事象を理想化・単純化して、その特徴を的確にとらえ、問題解決の方法を数学的に説明することが求められる問題です。

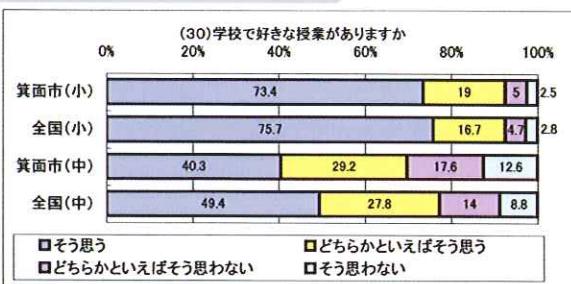
- $5/7 - 2/3, (5x - 8) - 2(x - 3)$ を計算する
- $-5x + 7 = -x + 31$ を解く
- 連立方程式 $y = 3x - 1, 3x + 2y = 16$ を解く
- 三角形の内角の和が 180° であることを理由の説明を完成する。

分数の引き算、方程式を解く、三角形の内角の和が 180° であることを説明は、できています。



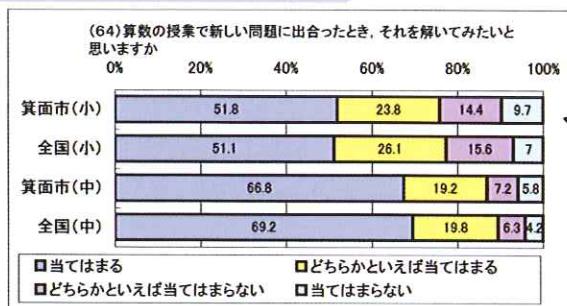
児童生徒の学習に関する状況

学校生活について



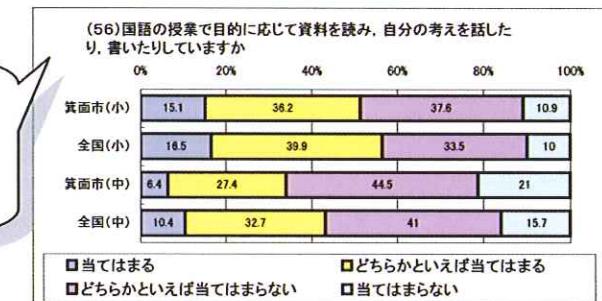
国語の勉強が好きだと回答した割合は全国とほぼ同じですが、中学校ではやや低くなっています。また、授業において自分の考えを話したり書いたりすることがあると感じている割合は、小・中学校ともやや低くなっています。

算数・数学科について



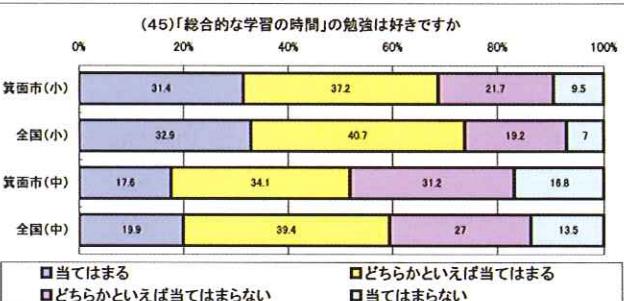
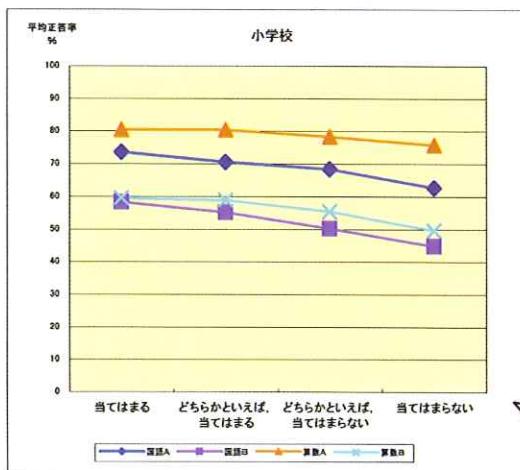
学校で好きな授業があると回答した児童・生徒の割合は、小・中学校とも全国よりやや低くなっています。

国語科について



算数・数学の授業の内容は、よくわかると回答した児童・生徒の割合は全国よりやや高い傾向がみられます。しかし、「新しい問題を解いてみたいか」という問では、やや低い傾向がみられます。

総合的な学習について



総合的な学習の時間の勉強が好きだと回答する児童・生徒の割合は、全国よりやや低いです。小学校では、好きだと回答する児童の方が平均正答率が高い傾向がみられました。

※詳細は、学校教育課のホームページ(<http://www2.city.minoh.osaka.jp/EDUGAKKOU/home.html>)でご覧いただけます。

※家庭教育用パンフレットを箕面市PTA連絡協議会とともに作成し、3学期初めに配布いたします。
※このパンフレットは文部科学省委託の「学校支援地域本部事業」を活用し、作成しています。

